

社会臨床ニュース

第112号

2023年10月10日

発行◆日本社会臨床学会

〒113-0021 東京都文京区本駒込 5-46-10 子問研

e-mail: shakai.rinsho@gmail.com

郵便振替: 00170-9-707357 銀行: ゆうちょ銀行店名〇一八(普通) 0601545

第31回総会へのご協力、ありがとうございます

総会実行委員長 松木宏史(運営委員)

第31回日本社会臨床学会総会は、2023年6月10日(土)、11日(日)の両日、藤沢・遊行寺を会場に実施しました。総会テーマとして「アッセンブレアで語り合うフェミニズム、ケアワーク、精神医療」を掲げ、それぞれのテーマごとに「車座になって語り合う」ことに主眼を置いた企画となりました。ご協力いただきました皆様にはあつく御礼申し上げます。特に大会の企画打ち合わせの段階から当日の要員に至るまで、「三吉クリニックお互いさん会」の皆様にはご尽力いただきました。ありがとうございます。

幸いにも二日間で延べ140名ほどの方にご参加いただきました。特に2日目のみご参加いただいた方のほとんどは非会員で、ひろく様々な方に、特にこれまで社臨のイベントに参加したことのない方にもお越しいただけたのではないかと思います。

総会企画では3つのセッションを準備しました。10日(土)午後のセッションでは「フェミニズムと労働と能力主義」を主題に、栗田隆子さん(『ぼそぼそ声のフェミニズム』著者)のご発題と、栗田さん・伊藤書佳(運営委員)・土田麻子(司会/運営委員)による対談が行われました。11日(日)午前のセッションは「あらためてケアワークを問う」と題して中川貴之(運営委員)・松木宏史(運営委員)が発題し、その後議論が行われました。午後には、「精神医療について語り合う」として、兵頭晶子さん(歴史学研究者)・長谷川利夫さん(杏林大学教授)・三吉譲さん(三吉クリニック院長)とお互いさん会(当事者会)のみな

さん・石原孝二さん（東京大学教授）・松本葉子さん（薬剤師・精神保健福祉士）のみなさんからの発題、議論が行われました。いずれのセッションも参加者からの発言が多く、熱い議論が行われました。文字通りひざを突き合わせて、現代的な課題を本音で語り合う濃密な時間となりました。

ところで、今回の総会から夜の交流会が再開できました。遊行寺の広間で、ケータリングの料理をつつきながら、自己紹介や歌も交えたにぎやかなひと時を過ごすことができました。希望された方は現地で宿泊もできました。ひと風呂浴びた後にバザーリアの映画「むかしMattoの町があった」を観ながら、ゆっくりと交流することができました。

一方で、10日午前の「年次総会」の参加者が非常に少なく、本学会の直面する様々な課題について、会員のみなさんと意見を交わすことが十分にできなかったことなど、課題も残っています。会員のみなさんがより参加しやすく、また会員外の方にもたくさん足を運んでいただけるよう、今後の総会のあり方について検討が必要です。日ごろの学会活動のあり方も問われてくるところです。ニュースを手にとってくださったみなさん、どうぞご意見を寄せください。

第 XVI 期運営委員会役割分担

伊藤書佳(第 XVI 期運営委員長)

学会創立 30 周年を迎えた日本社会臨床学会第 31 回総会が開催され、6 月 10 日に定期総会が行われました。そこで第 XVI 期運営委員および監事が選出されています。運営委員は 11 名です。これを受けて 7 月 2 日の運営委員会、7 月 10 日の臨時運営委員会ならびに 8 月 2 日の編集幹事会で第 XVI 期の役割分担を決めました。運営委員および監事の名前と役割分担は文末に記しましたのでご覧ください。

運営委員長は運営委員 2 期目となった伊藤が引き受けることとなりました。会員のみなさまに愛想をつかされてもしかたないほど雑誌発行などの運営が滞っておりますことを、

まずお詫び申し上げます。これからの2年間でたてなおしていきますので、どうかご協力をお願いいたします。

XVI期の役割分担が決まった8月の下旬、特別支援学校に通う児童生徒が15万人超えで過去最多、小中学校の在学者数は過去最少と報じられました。10月には、不登校29万9000人(2022年度文科省調査)で過去最多のニュース。社会臨床学会が2016年に成立反対の声明を出した教育機会確保法で拡充がうたわれた不登校特例校は、「学びの多様化学校」に改称され、将来的に300校設置が目指されるといいます。このように分けて分けられまくる状況のなかでは、違う現実をつくり出すための想像をたくましく膨らませたり、考えを深めあったり行動につなげたりする場として「社会臨床学会」がいっそう大事に思えてきます。XVI期運営委員会では、社会臨床学会発足当時から大事にされてきた“「される側」に学び「される側」と共に”の姿勢、反差別・共生を探る視点、そのなかで“「する側」の自己点検・相互検証”をおこない、障害や病気、能力、特性などによって人を分けないという方向性を提起しながら共に暮らすことを模索する、ということを継続して学会運営につとめていきたいと考えます。みなさま、どうぞよろしく願います。

今期の運営委員、監事の方々、及び役割分担は以下の通りです。

(運営委員)

伊藤書佳(運営委員長)、勝山実、高木剛、竹村洋介、土田麻子(運営副委員長)、
中川貴之、広瀬隆士、松木宏史(事務局長・編集委員長)、茂木毅、山田悠平、
やまもと・たかし

(監事)

池田祥子、池見恒則

「社会臨床雑誌」今後の発行予定について

松木宏史（第 XVI 期編集委員長）

この 1 年間、雑誌の発行が滞っており、みなさまにはご迷惑・ご心配をおかけしておりますことをお詫びいたします。特に、すでに投稿・寄稿いただいた皆様には多大なご迷惑をおかけしております。第 XVI 期の編集幹事会では、雑誌の定期発行に向けて議論し、編集作業の分担の見直しなどを行ってきました。発行のめどが立ってきたところです。

現在、以下のような日程で雑誌の発行を予定しています。

第 30 巻 1 号 2023 年 11 月中旬

第 30 巻 2 号 2023 年 12 月下旬

第 31 巻 1 号 2024 年 3 月

第 31 巻 2 号 2024 年 5 月

第 31 巻は年度をまたいでしまいますが、第 32 巻以降は安定的発行に向けて進めてまいります。みなさんからの投稿・寄稿をお待ちしております。



日本社会臨床学会第 XV 期会計報告

日本社会臨床学会第 XVI 期第 I 年度(2023/4/1～2024/3/31)予算

日本社会臨床学会第 XV 期運営委員会(2023 年 6 月 10 日、第 31 回定期総会にて承認済)

2023年度予算

収入の部

適用	2022年度決算	2023年度予算
繰越金	-165,111	-80,529
当該年度会費	552,000	990,000
過年度会費	204,000	468,000
翌年度会費	246,000	0
当該年度購読費	24,000	30,000
過年度購読費	0	12,000
翌年度購読費	0	0
雑誌等売り上げ	0	10,000
印税	0	0
広告費	0	0
利息	3	3
雑収入・カンパ	68,647	30,000
収入合計	929,539	1,459,474
収入(繰越なし)	109,465	154,003

支出の部

適用	2022年度決算	2023年度予算
雑誌発行費用合計	872,092	910,000
印刷費	800,000	800,000
郵送費	72,092	110,000
ニュース費用発行合計	56,639	70,000
印刷費	3,132	10,000
郵送費	53,507	60,000
運営委員会会費合計	30,181	194,000
文具消耗品費	181	2,000
交通費	0	150,000
会場費	30,000	40,000
資料印刷費	0	1,000
資料郵送費	0	1,000
事務局運営費	1,140	50,000
広告費	9,880	9,880
雑費	1,210	30,000
総会損失補填	10,426	70,000
年度借入返済金	0	0
学習会補填	28,500	100,000
「70代」発送費	0	1,000
次年度繰越金		24,594
支出合計	1,010,068	1,459,474

※2023 年 3 月 31 日現在、会員 165 名。うち 2022 年度会費未納 45 名。

日本社会臨床学会XV期第2年度(2022/4/1~2023/3/31)決算
日本社会臨床学会第XV期運営委員会(2023年5月10日第31回定期総会にて承認済)

決算表

①収入状況

2023年3月31日

	予算	2023/3/31	比較増減
適用	2022年度		
繰越金	-165,111	-165,111	0
当該年度会費	852,000	552,000	-300,000
過年度会費	438,000	204,000	-234,000
翌年度会費	0	246,000	246,000
当該年度購読費	30,000	24,000	-6,000
過年度購読費	6,000	0	-6000
翌年度購読費	0	0	0
雑誌等売り上げ	10,000	0	-10,000
印税	0	0	0
広告費	0	0	0
利息	3	3	0
雑収入・カンパ	30,000	68,647	38,647
収入合計	1,200,892	929,539	-271,353
収入(繰越なし)	1,366,003	1,094,650	-271,353

②支出状況

2023年3月31日

	予算	2023/3/31	比較増減
適用	2022年度		
雑誌発行費用合計	910,000	872,092	-37,908
印刷費	800,000	800,000	0
郵送費	110,000	72,092	-37,908
ニュース費用発行合計	45,000	56,639	11,639
印刷費	10,000	3,132	-6,868
郵送費	35,000	53,507	18,507
運営委員会会費合計	55,360	30,181	-25,179
文具消耗品費	2,000	181	-1,819
交通費	17,000	0	-17,000
会場費	36,360	30,000	-6,360
資料印刷費	0	0	0
資料郵送費	0	0	0
事務局運営費	30,000	1,140	-28,860
広告費	9,880	9,880	0
雑費	30,000	1,210	-28,790
総会損失補填	70,000	10,426	-59,574
年度借入返済金	0	0	0
学習会補填	50,000	28,500	-21,500
「70代」発送費	0	0	0
次年度繰越金	652		-652
支出合計	1,200,892	1,010,068	-190,824

現在額

2023年3月31日

振込票残額	¥703,797
ゆうちょ銀行	¥98,441
現金	¥38,050
合計	¥840,288

社臨、これからの予定

●第 XVI 期第 2 回運営委員会 & 第 32 回総会実行委員会

2024 年開催の第 32 回総会実行委員会を立ち上げます。会員みなさま、ぜひ、実行委員に加わってください。総会企画や開催場所などいっしょに考えましょう。参加くださる方は、事務局までメールなどでご連絡いただけたら幸いです。

また、雑誌やニュースの発送、雑誌作りなどにご協力くださる方も募っております。もしなら手伝えるという方、事務局メールにご一報ください。よろしくお願いします。

日時：2023 年 11 月 12 日(日)10 時半～ 総会実行委員会は午後からです。

場所：子問研 文京区本駒込 5-46-10

●秋の会員交流会

ご自身の活動や暮らしのなかで考えていること、社臨の今後についてなど語りあう会を企画します。オンラインでの開催です。ご参加お待ちしております。

日程：11 月下旬以降 決まり次第、ホームページとフェイスブックに掲載します。

場所：オンライン 申し込みいただいた方に zoom リンクをお送りします。

申し込み方法：下記アドレスまで、①おなまえ ②ご所属(あれば)を本文に明記し、件名「秋の会員交流会申し込み」としてください。

shakai.rinsho@gmail.com

会費納入のお願い

日本社会臨床学会の活動は、会員の皆様のご納入くださる会費にて賄われています。今年度会費未納の会員の方にはお手数をおかけしますが郵便振替にて以下の口座まで会費の納入をお願いいたします。年会費は 6000 円です。どうぞよろしくお願いします。

郵便振替：00170-9-707357 日本社会臨床学会

(ゆうちょ銀行 店名〇一八 普通預金 0601545)